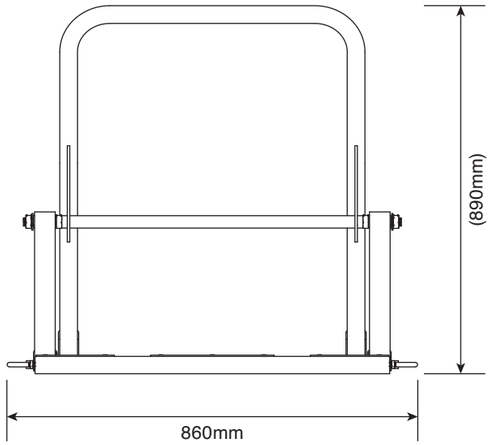
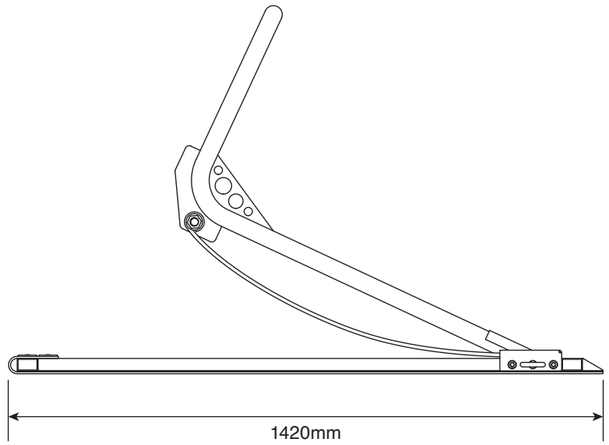
仕様

正面図



側面図



使用材料	アルミニウム、鉄鋼、ゴム
表面処理	焼付塗装
重量	本体：約20Kgf，ストップバー：約20Kgf

オプション

移動・運搬用キャスター

自在キャスターで移動もらくらく

矢印看板

規制の看板（LED矢印看板）

高輝度反射式矢印板

場面に合った図柄をご提供

看板の取り付けは蝶ネジでかんたん

OTC 株式会社 近江テック

0749-22-5850

https://ohmijikou.jp

〒522-0033
滋賀県彦根市芹川町380番地

0749-22-5860

Oct. 2024 PRINTED by OHMI TECH CO., LTD.

現場に寄り添った技術と機能で工事規制をサポート!!!

NETIS登録製品
KK-220058-A

意匠登録1734784
意匠登録1734785
（車両強制停止具）

独創の技術
特許出願中

作業員の命を守る、工事規制の現場に規制の相棒

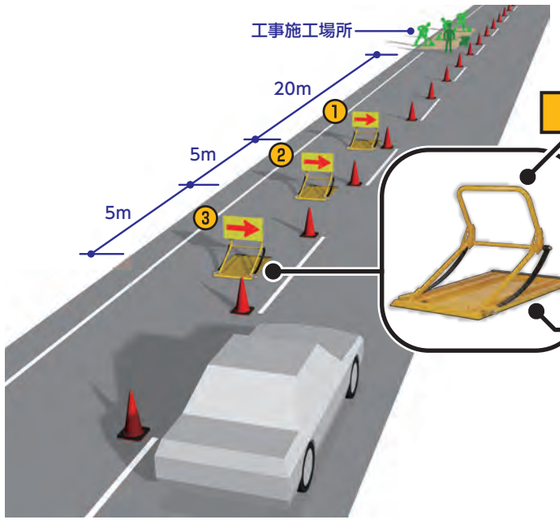
～大学研究室の全面的な協力により開発された新しい発想の車両停止装置～

侵入車両を停止させる方法

規制区間内に誤侵入した車両が接触すると、規制の相棒は車両の下に入り込むかたちとなります。車両がストップバーを下方向に押し付けることで、ストップバーに付属する板バネを介して本体底面全体が路面に押し付けられ、本体裏面に貼付されているゴムの摩擦エネルギーによって車両を停止させます。

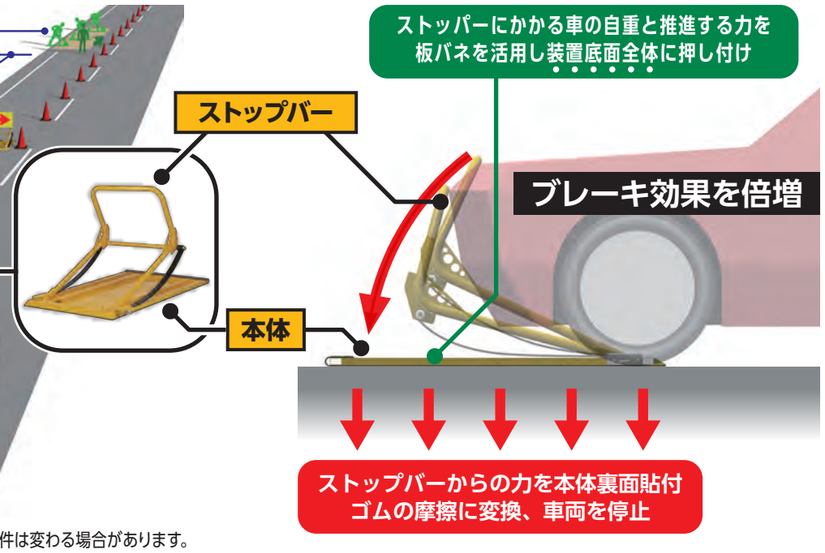
例：高速道路での設置

規制エリア内工事個所の約20m手前
３台の規制の相棒を約５mピッチで設置



規制の相棒の制動メカニズム

侵入車両の重量に加え、侵入速度をストップバーの板バネで装置底面全体に制動荷重として変換、圧倒的な制動力を確保。



※ 工事規制の状況や設置環境により、適切な設置条件は変わる場合があります。

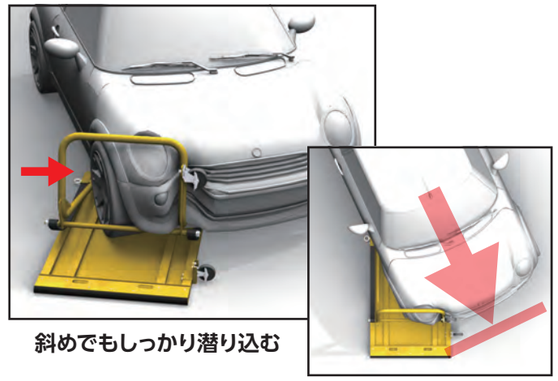
衝突緩衝バリケードとの違い

衝突緩衝バリケードは、斜めからの侵入車両があった場合、衝突緩衝バリケード自体が回転してしまい、規制内の作業員を巻き込み大惨事になる可能性があります。車両停止装置「規制の相棒」は、侵入車両の下に潜り込み侵入車両の進行方向で停止できるので、作業員を巻き込む可能性が低い作業員を守るための装置です。

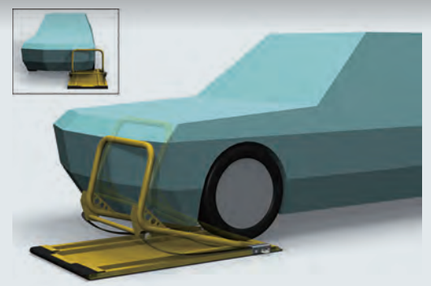
衝突緩衝材（クッションドラムタイプ）の場合

衝突緩衝材（バリケードタイプ）の場合

規制の相棒なら…

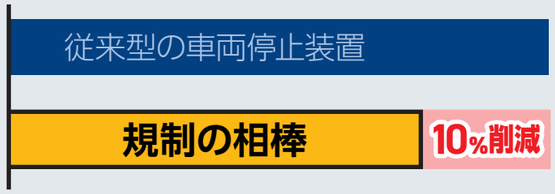


車両停止装置「規制の相棒」は、侵入車両の下に潜り込み、侵入車両の進行方向で停止できるので、規制内の作業員を巻き込む可能性を軽減することが可能です。



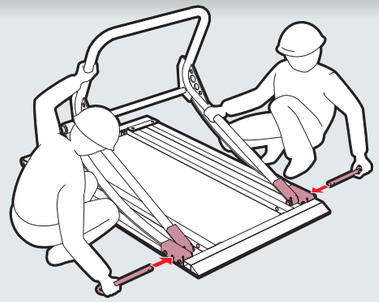
従来モデルの車両停止装置（大学研究室所有）は、車両を持ち上げて停止させる構造であるため、斜めからの侵入車両には対応しにくい構造でした。これに対して新たに開発した規制の相棒は、車両の下に入り込み、車両荷重の押し付け効果により大きな摩擦を発生させ停止させる装置です。そのため、斜めからの侵入車両でも規制の相棒が車両下部に挟まりさえすれば制動効果を発揮します。
新技術としてNETISにも登録されています。

斜めからの侵入車両に対して大きな効果がある車両停止装置



大学研究室における実験において、車両を持ち上げる方式の従来型車両停止装置（大学研究室所有）と規制の相棒の停止距離を測定する実験を実施し、規制の相棒が10%程度停止距離を削減できる結果となっています。これは、車両を押し付ける力が従来型の車両停止装置よりも規制の相棒の方が大きく確実に路面摩擦を大きくすることができたことを示しています。

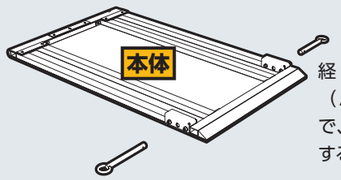
規制の相棒は、従来モデルの車両停止装置よりも10%の停止距離削減できる装置



本製品は、本体とストップバーの２つに分解が可能です。それぞれの重量は約20Kgf程度となっており、移動や運搬、組み立ての際にも少ない負担で対応が可能な構成です。
また、簡易な構成なので1分とかからず組み立てが可能。
ストップバーを本体に差し込み、ピンで固定するだけです。

2つの装置（パーツ）に分解可能、運搬等が容易

本製品は、２つの装置（本体+ストップバー）を個別に販売しています。



経年劣化等が大きい装置（パーツ）のみ交換できるので、メンテナンスコストを削減することが可能です。

経年劣化等によるメンテナンスコストを削減